

臨床研究の情報公開について

長崎国際大学薬学部、日本薬剤師会、長崎県薬剤師会では下記の臨床研究を実施しております。本研究は観察研究（対象となる患者さんの匿名化された診療情報を用いる研究）であるため、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる患者さんから直接同意を得る代わりに、研究の実施についての情報を以下の通り公開いたします。

研究課題名	処方箋の一元管理の有益性に関する全国実態調査
研究責任者	長崎国際大学薬学部教授 室高広(研究代表者) 日本薬剤師会副会長 渡邊大記(研究責任者) 長崎県薬剤師会副会長 木崎健五(研究責任者)
本研究の目的	本研究では、処方箋の一元管理と同一薬効群の医薬品使用実態を明らかにします。保険薬局は、患者さんの薬剤の使用状況を把握し、必要に応じ患者指導や医療機関への情報提供が求められています。この目的のためには患者さんの薬剤の使用状況を一元的に管理することが望まれており、保険薬局は以前より処方箋の一元管理に取り組んでいます。しかし、患者さんに発行された複数の処方箋が特定の保険薬局にどの程度集約されているかといった実態は十分に調査されていません。また、一元管理による実態も明らかとされていません。このような実態を明らかとし、また、これらの結果を基に、各保険薬局における処方箋一元管理の拡充に向けた対策の推進を促していきます。
研究の方法 (使用する情報等)	2015 年度、2018～2021 年度の期間で、レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)に格納されているすべての調剤レセプト情報を入手し、それを解析する。
試料/情報の他の研究 機関への提供および提供 方法	上記情報は、長崎国際大学薬学部が厚生労働省に申請し入手する。入手した情報は長崎国際大学が保管し、他の研究期間に提供することはありません。
個人情報の取扱い	NDB データを入手した時点で、氏名や住所等の患者を直接特定できる個人情報は削除されています。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
問合せ先	長崎国際大学薬学部 医療情報学研究室 教授 室 高広 (電話:0956-39-2020)